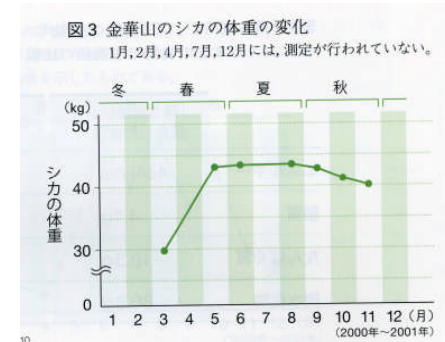
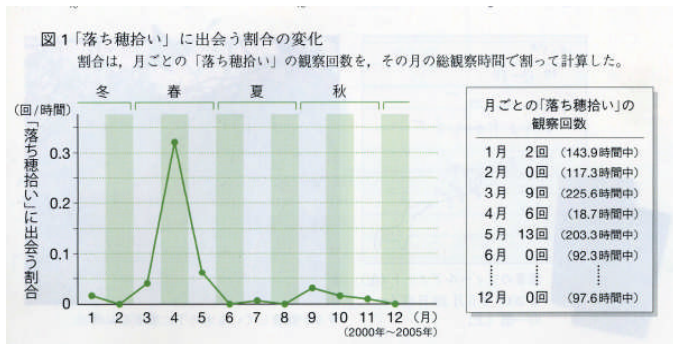


誰にでもわかる! 図解「シカの「落ち穂拾い」」(見本)



シカの「落ち穂拾い」とは、サルが木の上でえさを食べるときに落ちる葉や花を、木の下に集まったシカが食べる行動のこと。

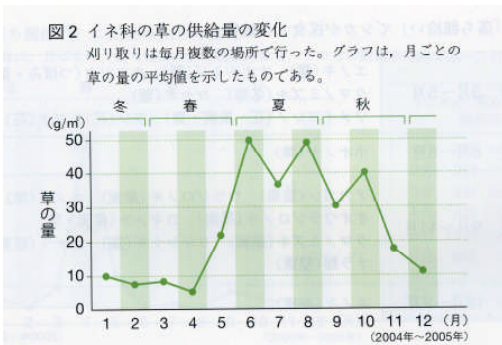
シカが「落ち穂拾い」をする理由



「落ち穂拾い」は3月から5月に欠けての春に集中している。

シカは食物の乏しい冬の間には体脂肪を消費するため、3月ごろは体重が非常に軽い。

食物が乏しく栄養状態が悪い時期に、自力では獲得が難しい、しかも栄養価の高い食物をサルがたくさん落としてくれるから。



シカ本来のえさであるイネ科の草の供給量は冬から春にかけて減少する。

表2 「落ち穂拾い」で採食した食物とシカの本来の食物の栄養価の比較 (100g当たりの平均値)

	「落ち穂拾い」で採食した食物	シカの本来の食物
エネルギー	444kcal	306kcal
脂質	4.1g	1.1g
たんぱく質	12.3g	8.4g
炭水化物	80.8g	61.0g

シカ本来の食物よりも「落ち穂拾い」で食べる食物のほうが、含まれているエネルギー量が多い。